

# 6 がっひかりごう

令和3年6月1日 輝保育園

例年より早い梅雨入りで、青空が見られる日は、大人も子どもも、心が弾みます。お家の方が恋しくて泣き顔だった子ども、笑顔を見せてくれるようになり、近頃は泣き声よりも笑い声の方がよく聞こえてくるようになりました。先日小雨の日に、3才児さんがカッパを着てお散歩に出かけました。空の変化や、匂い、水たまりの滑りやすさなどの気付きがあったようで満足気な表情を見せてくれました。4、5才児さんは、夏野菜を育てはじめました。今月も、様々な活動を通して、気付きを深めていきます。

## 【和菓子の日】

6月16日は和菓子の日。

業界が作ったものと思われそうですが、かなり古くからの風習で、平安時代から続きます。

第54代天皇が、6月16日に「1」と「6」の数にちなんだお菓子や餅などを神様にお供えされました。

そして世の中から疫病をはらい、健康招福を神様に祈られました。

この日は、和菓子屋さんで限定商品が発売されたりするようです。

最近では、乳成分を含んでいないことから、健康食品として見直されています。



## ナース・レポート

6月4日～6月10日は「歯と口の衛生週間」です。

なぜ、虫歯になるのでしょうか？

実は、生まれたての赤ちゃんの口腔内には虫歯菌（ミュータンス菌）は存在していません。

そこから分かるように、虫歯菌は、唾液を介して感染する、感染菌なのです。

虫歯菌を口腔内に持っている大人の唾液が、コップや食器の使いまわしや、かわいいからとキスをしたりして赤ちゃんの口の中に入ると、虫歯菌に感染します。

乳歯の奥歯が生えてくるおおよそ18ヵ月から36ヵ月までの間は、親子感染しやすい「感染の窓」と呼ばれる期間で、特に注意が必要です。

また、乳歯は、永久歯に比べてやわらかく酸に弱いため、虫歯になりやすく、エナメル質や象牙質に厚みがなく、虫歯になると一気に進行してしまいます。

虫歯を放置すると、噛むときに痛みが生じるため偏食になりやすく、顎の発達や永久歯にも悪影響を及ぼします。

乳歯はいずれ永久歯に生え変わるからと放置せず、きちんと治療を進めましょう。

歯は、一生の間、毎日欠かさず使う大切な物。歯ブラシは1ヵ月を目安に交換をし、きちんと歯磨きをして、しっかり守っていきましょう！！



## 6月の行事予定

4日(金) 避難訓練

25日(金) 身体測定・誕生会

## 《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

## ☆☆ テレビ、スマホに 子守りをさせないで ☆☆

6. 人見知りになる  
テレビばかり見ていて家族以外の人と接する機会が少ないと、人見知りになってしまう可能性があります。

テレビを見る時間をなくすことはできなくとも、公園遊びを積極的に取り入れるなど、家族以外の人や同年代の子供と接する時間を増やしてあげましょう。

7. 表情が乏しくなる  
現実の世界ではなくテレビの世界とばかり接していると、表情が乏しい子供に成長するといわれています。

テレビを長時間見ることにより、子供の愛らしい表情が消えてしまうのは悲しいことですね。気を付けてあげましょう。

「マミー」のホームページより抜粋







テレビやスマホなどは、少し早いテンポで進行し、思考力を放棄させます。

当然、会話も存在せず、言葉を覚えず、言葉の意味を正確に理解できません。

見ていなくても、ストーリーは勝手に進んでいきます。

要するに、会話力が育たず、人との協調や協力を理解することができなくなります。

集団の中にも、本人の頭の中には自分の世界があり、周囲の人が何を考え、何をしようとしているか、全く気にしない子どもになります。

こどもよす	たんぼぼぐみ 0才児 	園での生活にも慣れ、食事を楽しんだり、遊んだりする事で子どもたち一人ひとりが保育士との関係を築き、信頼できる存在へと変わりつつあります。おもちゃで遊んでいる時、上手く出来ない、「できないよ」と伝えに来てくれたり、保育士が傍を離れると悲しくて泣いてしまったり、抱っこを求めて両手を広げたりと様々な感情を表現してくれています。もちろん、おいしいご飯を食べた時、おもちゃが転がっていく様子が楽しかったりと、嬉しい気持ちや楽しい気持ちを共有しようとしています。2ヵ月の間で園が生活の一部となり伸び伸びと過ごせるようになった子どもたち。これからは歩いたり走ったり、おしゃべりしたりと成長著しい時期です。それぞれがこの関係を基盤に世界を広げどんな表情や仕草を見せてくれるのかとても楽しみです。
	たんぼぼぐみ 1才児 	好天の日は、朝も夕方も戸外に出てたくさん遊んでいます。鉄棒にぶら下がったり、滑り台の側面からよじ登ったりと、活発に動いて遊ぶ子どもたち。鉄棒にとつきまり、長くぶら下がっていて、驚かされます。高月齢児は、保育者やお友達と一緒に過ごすことを楽しんでいきます。1才と少しの子たちも、周りのお友達に興味が出てきています。しかし、まだ上手な関わり方がわからず、押し合い、引っ張り合いになってしまうこともあります。その都度、「〇〇したかったね」、「〇〇ちゃんは、こうしたいみたいだよ」など、その子の思いを受け止めること、相手の思いを知らせることを大切に関わっています。おともだちに触れるときは、「優しくね」ということも繰り返し伝えていきます。初めてのお友達との出会いが楽しいものとなるようにしていきます。
	すみれぐみ 2才児 	5月の指標の一つとして、2才児の生活に慣れ、安心して過ごすことを目標に取り組んできました。最近では、好きな遊びを思い切り楽しむ姿が見られるようになりなりました。戸外では、虫探しをよくしています。畑のところに駆け寄り、「てんとうむし」や「ダンゴムシ」を見つけ、大喜びの子どもたちです。その過程で、見つけた虫を踏んでしまったり、強く握りつぶしてしまうことがありました。虫にも命があることを伝え、また、絵本を通し、虫の扱い方を知らせました。それからは、虫を捕まえるときに、そっと握ったり、「虫さん、痛いよね」と虫の気持ちになり、丁寧に扱う姿がみられるようになってきました。引き続き、虫に興味を持ち関わる中で、扱い方を伝えていき、虫にも命があるということを学んでほしいと願っています。
	ちゅうりっぷぐみ 3才児 	こども達の会話を聞いていると口調の強さが原因でトラブルに発展する事があります。トラブルの際は、相手の気持ちに目を向けられるよう「どうしたらよかったかな？」と自分の行動を振り返るよう尋ねるのですが、振り返る前に「ごめんねって言う」と答える子が多くいます。「ごめんね」が道具のような使われ方をしていることも事も含め、今年度の1つの課題に「言葉」があると捉えています。使う言葉や口調を変えると、互いに抱く感情が心地よいものに変わることに気付いて欲しいと思い、優しい気持ちや優しい伝え方について話をしたり手本を示したりしています。行動に反映してくれる子どももおり、「ありがとう」、「一緒にしよう」など温かなやりとりがうまれていることは嬉しい変化です。この温かな輪が広がっていく日を楽しみにしています。
	ばらぐみ 4才児 	先月、前転の練習をしました。初めは苦戦し、思うように回れない姿がありました。「手と足と頭を仲良くするんだったね」と伝えると体の位置に意識を向け、コツを掴み始めました。前転が成功すると、「先生出来たよ、マットからお尻落ちちゃったよ」と、とても嬉しそうです。「頑張っている姿を認めてもらった、自分で出来た」という経験が支えとなり、難しいことでも諦めずにやり遂げようと取り組む気持ちに繋がります。子ども達が達成感を感じられるよう、温かい見守りと声掛けを行っていきます。これから蒸し暑くなり、汗ばむことが予想されます。その為、その日の気温や湿度に応じて身体を拭いたり流したり、水遊びを計画しています。フェイスタオル1枚の準備を毎日お願い致します。
	ひまわりぐみ 5才児 	先日、張り切ってプランターに「きゅうり」と「ピーマン」の苗を植えました。雨上がりに外へ出ると「あ！野菜が大きくなって」と気づいた子が興奮して教えてくれます。水やりを忘れることもありましたが、最近では野菜の生長が楽しみで、意欲的に水やりをしようとする姿が見られるようになりました。友だちと協力し合いながら最後まで大切に育て、自分たちで育てた野菜を収穫したり、食べたりする喜びを感じてほしいと願っています。また、運動会の鼓隊に向けて、果物の名前に合わせてリズムを叩くリズム遊びをしています。保育者をよく見て、音楽をよく聴き、友だちと合わせてリズムよく叩くことが目標です。鼓隊への取り組みを通して、友だちと心をつなげ、一つのことに取り組む楽しさを味わい、クラスの団結力が高まることを期待しています。